

課題その6 学校改善を組織的に行うために～知徳体の3部会の役割～

裏面は、手嶋教頭先生がまとめた、本校コミスクのリーフレットの第1面です。

ここに示しているように、本校では学校教育目標を、知徳体の3分野で構成し、それを達成するために、学校だけでなく、家庭、地域の組織も3部構成としています。

知徳体3分野としたのは、教育基本法に教育の目標として「知徳体の調和」が明記され、山口県教委においても、取組方針の第1項目として「知徳体のバランスのとれた教育の推進」があげられていることからのことです。

特色ある学校の取組として、知徳体のどれかの分野を突出することもあります。学校の目標としては、基本としてこの3分野それぞれを重視することが大切だと考えます。

本校の目標は、中期的な課題と取組の方針を示したものです。

それぞれの分野の目標を達成するためには、それを目指した組織が必要ですそれが知徳体の3部組織です。

各部では、その年の重点的な取組の方針を協議します。例えば、徳「あたたかい言葉で支え合う」という学校目標実現のために、「豊かな心育成部」（次年度名称を変更します）で、協議して、「やはり基本はあたたかい挨拶だろう」と決めたとします。

そう決めたら、まずは、部内の校務分掌で、これに繋がる取組を工夫します。生徒指導、教育相談はもちろん、特別支援、通級、人権、特別活動、幼保小連携、道徳、音楽の各部で、その年は、特に挨拶の徹底を図ります。

さらには、全校提案をして、全学級はもちろんのこと、他の部の取組にもその方針を組み入れてもらいます。そうしてこそ、1年くらい経ったころ、児童の姿が少しずつ変わってくるでしょう。

この3部会は、年間に3回程度の会です。大きな方針を決めたら、後は、部内の各分

掌単位で進めます。そして時々、進捗状況を確認し合う。

この3部会制をこれまでの校務分掌の取組と組み合わせたのが、昨年度からの校務分掌の3プロジェクト化です。これまでの校務分掌は、校務の分担であり、全体が組織化しているとまでは言えませんでした。

学校教育目標と校務分掌の推進方向を関連させるための組織化です。

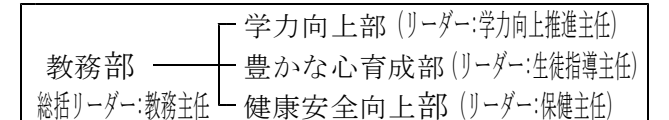
ただ、プロジェクトという名称は、やや一時的な感じがすることから、次年度は「部」という組織名称にします。一般の会社には、「〇〇部」-「〇〇係」という組織がありますよね。この組織の取り入れたものです。

私達教員には、これまであまりなじみのない組織化ですから、初めはやりにくさもあるでしょう。しかし、今後、学校だけでなく、PTAや地域（学校運営協議会）との連携を進める上で、3者が同じ組織で協議し取り組みを進めるのは必要不可欠です。

また、この組織が有効に機能するためには、各部のリーダーの役割が大変有用です。

次年度は、3部会のリーダーは、学力向上推進主任、生徒指導主任、保健主任を充てます。この3主任が一層、リーダーシップを発揮してくれることを期待しています。

また、教務主任は、校務分掌表に示しているように3つの部を総括する立場になっています。教務主任は、教育課程の推進責任者ですから、3部全ての取組をトータルコーディネートしてほしいと思います。新教務主任のリーダーシップをお願いします。



本校の学校改善、課題解決に向けた組織的な取組が進むよう、また、吉敷地域の学校・家庭・地域が一体となった「やまぐち型地域連携教育」が進むよう、この3部会組織をみんなで機能させていきましょう。

みんなで創る もっともっと楽しくてたまらない

良城小学校 コミュニティ・スクール

コミュニティ・スクール（以下「コミ・スク」）とは、学校に「学校運営協議会」を置く学校のことをいいます。本校では、13名の協議会委員と教職員により構成されています。学校運営協議員は、地域の有識者や地域づくり関係団体・各施設の長、保護者の代表等から構成され、山口市教育委員会から委嘱されています。本校は、校内の校務分掌を知徳体の3部会に分け、学校運営協議会やPTAの組織とも連動して運営する仕組みになっています。（下図参照）

コミ・スクは、学校長の方針を承認して一緒に運営していく「学校運営」、学校教育の質の向上をねらう「学校支援」、学校を核とした人づくり・地域づくりをめざす「地域貢献」の、3つの機能を有します。また、本校コミ・スクは、鴻南中学校区をもとにした地域協育ネットの仕組みを生かして、やまぐち型地域連携教育の推進にも努めています。（次頁以降参照）

良城小学校教育理念 **自主・協働・貢献**

学校教育目標

ふるさと吉敷を愛し、あたたかい言葉で支え合いながら、進んで学び、人と学び、大切な心と体を自ら守る児童を家庭・地域とともに育成する。

学校運営方針

良城（吉敷）だからこそその学校教育を推進する

良城（吉敷）だからこそ できること、やらなくてはならないこと
◎良城小の子どもだからこそ ◎吉敷地域だからこそ ◎今だからこそ ◎私だからこそ

学校運営目標

- 1 コミ・スクを基盤として組織的な学校運営を推進する。
- 2 日常的に人材育成を推進し、教職員の資質能力の向上を図る。
- 3 積極的な生徒指導を充実し、安心・安全な学校づくりを推進する。

学校運営協議会

学力向上 部会

- ・良城(吉敷)だからこそ地域連携カリキュラム
- ・日常的な言語活動の充実
- ・図書館を活用した授業の継承
- ・日常的な授業改善

地域学校協働
活動推進員

校

豊かな心 育成部会

- ・児童会活動の活性化
- ・家庭、地域と連携した良城しぐさの継承
- ・チーム対応によるいじめ事案の未然防止・早期対応
- ・インクルーシブ教育の充実

内

健康安全 向上部会

- ・学校保健安全委員会の活動の充実
- ・日常の遊びの改善による体力向上
- ・吉敷がからこそその防災教育・危機管理の充実
- ・魅力ある給食の充実

地域連携活動
支援員

熟議 知徳体部会別協議 ユニット型研修

・学校運営 ・学校支援 ・地域貢献 ・人材育成 ・地域づくり ・活動の日常化

家庭（PTA）・地域（吉敷地区地域づくり協議会等）

山口市立良城小学校

HPアドレス <https://www.yamaguchi-ygc.ed.jp/ryojo-e/>